

市長から市民のみなさんへ

69

山陽小野田市長 白井 博文

「こどもの日セール」を実施します

昨年の9月の1か月間を「敬老祝月間」と称し、対象の方とご家族が市内商店などでサービスを受けることができる「敬老祝事業」を実施しました。これは行政からの敬老祝金は廃止になりましたが、敬老のお祝いの気持ちを広く市内の事業所のお力を借りて表わし、一方で市内事業所の商業振興も期待しての試みでした。お陰様で、好評をいただきましたので、今年の1月には「成人おめでとうセール」を実施しましたが、いずれも対象者が限られているにもかかわらず、たくさんの事業所からご協力をいただいたことに厚くお礼申し上げます。

そして、今回、引き続き「こどもの日セール」を企画しました。5月5日のこどもの日を祝って、5月の1か月間、市内商店などで様々なサービスを受けることができるものです。もちろん、サービスを提供いただける事業所があってのお祝いセールです。多くの商店主さんの皆様のご理解とご賛同をいただき、広く市民が祝う「こどもの日お祝い月間」にしたいと考えています。たくさんのご応募をお待ちしています。

再度 平成20年度予算について

2ページから平成20年度予算についての記事を掲載していますが、若干ここで補足説明をさせていただきます。

3月1日号において、20年度予算を「夜明け前予算」と名付けたところ、「夜明け前の空はまだ暗い」というご指摘をいただきました。確かにここ2、3年で見込まれている約150人の大量退職者への退職金の手当てや、税と並んで歳入の要である地方交付税の先行きが読めないな

ど、財政的には楽観視できない要因はまだ残されています。しかし、20年度予算が、「財布の中身」ばかりを気にせざるを得なかった今までと違うのは、同じお金がない中でも「総合計画」というまちづくりの基本となる「10年計画」に基づいて編成することができたということです。長期的展望のもと、中期・短期のしっかりとした計画に基づいて、一步一步、着実に前進すれば4～5年後には「青信号」に到達し、合併特例債を利用した新しい「建設の時」を迎えることができるのではないかと、そういった予感を覚えながらスタートする平成20年度予算に「明るい兆し」を感じることができる気がするのです。

また、今回の編成作業では、市役所各課から予算要求を受けるに際して、「慣例ではなく一定の枠内で知恵を絞って要求するように」と指示したところ、数億円の減額が実現しました。このように職員の意識改革が着実に進んでいることなども、まさに「朝日は見えた」と言えるのではないのでしょうか。

平成20年度は、必ずやってくる夜明けを待ちつつ、もうひとふんばりして、「夜明けの後」の準備をしようではありませんか。

対話の日

【いずれの会場も19:00から】



4月10日(木) 古開作自治会館

4月24日(木) 南若山自治会館

※4月10日は山陽地区の開催です。

「こどもの日セール」 参加事業所募集



市では、商工会議所のご協力をいただき、**5月の1か月間**、市内商店などで「こどもの日セール」を実施します。そこで期間中、小学生以下の子どもと同伴の家族にサービスを提供をしていただける参加事業所を右記のとおり募集します。奮って参加いただきますようお願いいたします。

【実施内容】

小学生（6年生）以下の子どもと同伴の家族にサービスの提供をお願いします。例としては、商品の定率・定額割引などのサービスがあります。

※サービス内容は各協力店にお任せします。また、それに伴う負担は各協力店でお願いします。

【申込期限】4月21日(月)

【申込方法】

各商工会議所に備え付けの申込用紙に記入のうえ提出してください。郵送またはFAXでも構いません。